八重山農林高校校歌

本調子

工	五	工	合	工	合	工	中	尺	上	工	合
工	合	工	○	合	○	四	合	四	中	上	合
上	合	四	合	四	合	四	○	合 や	○	中 え	合
中 ー	四 の	上 し	合	上 お	中 お	四 じ	合	四	乙	合 に	○
合 か	○	工 こ	合	工	中 お	四 ま	上 あ	中 れ	工 え	上 て	合
上	合	上	○	合 も	○	乙 ゆ	尺	乙	尺	合 る	○
四 だ	上	五 い	四	五	四 ち	工 の	○	四 や	上	中 え	合
中	工 え	上 や	合	上 ま	合	四 は	○	四	○	四	○
上 む	上 げ	合 ん	尺	合	尺	合 の	○	合 ほ	○	上 う	合
上	合	上 こ	合	中 う	上 う	四 づ	合	四	老 う	乙 め	乙
中 つ	合	上 つ	合	上	合	上	○	工 わ	五 か	工 き	合
工	合	工	中 お	尺 の	上 こ	工 を	合	工	合	工	○

八重山農林高校校歌

本調子

さ	合		四
	○		合
し	四	○	四
	合		
	四		
ま	中		
ね	上		
	合		
	上		
	合		
く	四		
	合		

一、1．八重の潮路に囲まれて
燃ゆる大地の八重山は
無限の宝庫　埋めつつ
若き男の子を　さし招く

2．白雲たなびく　おもと岳
裾野を流るる　宮良川
自然の恵み　いと深く
愛郷愛土の　血ぞたぎる

3．うるまの島に　生をうけ
国を富まさん　土の民
いざ身を捧げて　農業の
いさおし永久に　うちたてん

4．朝に白露　夜は星
いただきながら　農産の
道を究むる　学窓の
ただ一筋の　誠のみ

5．青空高く　大鷲の
翼をならして　はばたけば
輝く真理の　朝ぼらけ
これぞ我らの　望みなれ